

第一看護学科

受験番号

氏名

第一看護学科 令和6年度推薦入学試験問題 国語総合

(六の一)

- 次の文章は、木村覚^{さとる}氏の評論『笑いの哲学』の一部です。精神的な病を抱えた人たちとともに、特産品・介護用品の販売を行っている社会福祉法人・有限会社「浦河べてるの家」(問題文中では、「べてる」と記されている)の設立に寄与したソーシャル・ワーカー向^{むかひ}谷^や地^ち生^{せい}良^{りょう}氏・精神科医川村敏明^{としあき}氏の考えを紹介している部分です。読んで後のそれぞれの問いに答えなさい。ただし、答えはすべて後の解答欄に記入しなさい。

第一看護学科 令和6年度推薦入学試験問題 国語総合

(六の二)

(木村寛『笑いの哲学』、講談社、二〇二〇年)

問一 二重傍線部①～⑧のカタカナを漢字に改め、漢字はよみをひらがなで答えなさい。

問二 1 [] とあるが、このように考えられる理由を、問題文での筆者の説明をもとに、述べなさい。

問三 2 [] の指す内容は何か、説明しなさい。

問四 3 [] とは、どのようなことを指しているか、わかりやすく説明しなさい。

問五 4 [] とあるが、ここで言う [] の具体的な内容を、説明しなさい。

第一看護学科 令和6年度推薦入学試験問題 国語総合

(六の三)

二 次の文章は、詩人文^{ふづ}月^{つき}悠^ゆ光^ひ氏のエッセイ「トラウマの花」の一部です。読んで後のそれぞれの問題に答えなさい。ただし、答えはすべて後の解答欄に記入しなさい。

第一看護学科 令和6年度推薦入学試験問題 国語総合

(六の四)

(文月悠光『洗礼ダイアリー』、ポプラ社、二〇一六年)

第一看護学科 令和6年度推薦入学試験問題 国語総合

(六の五)

問一 二重傍線部①～⑧のカタカナを漢字に改め、漢字はよみをひらがなで答えなさい。

問二 「A」に入る最も適切なものを、次のア～エの中から、一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言いよんだ

イ 言い聞かせた

ウ 言い放った

エ 言いさした

問三 1 [] とあるが、これは、どのようなことを指しているか、説明しなさい。

問四 2 [] とあるが、この時、[] は、なぜ [] のか、説明しなさい。

問五 3 [] とあるが、これは、[] のどのような状態を指しているか、説明しなさい。